

平成29年度土木学会四国支部愛媛地区講演会及び産官学交流会 報告

平成30年2月5日（月）土木学会四国支部愛媛地区主催のもと、毎年恒例の行事である愛媛県にある建設業界の関連する人たちが集まって交流を深める行事である講演会及び産官学交流会が行われました。今年度の開催場所は、愛媛大学キャンパス内にある南加記念ホールで行われました。（参加者 学：19名、産：55名、官：44名）

17:00～18:00からの講演会では、愛媛地区幹事・中畑和之先生司会による開催宣言の後、国土交通省 企画部長の野崎智文様から「四国地方整備局における最近の取り組み」という演題でご講演を頂きました。

講演の内容は、1.四国の自然と社会条件、2.四国地方整備局の事業、3.災害に対する備えと対応、4.インフラ・メンテナンス、5.i-Constructionと働き方改革、6.これからの四国について演題でした。

四国で起きる両極端な降雨特性で瀬戸内側では渇水、太平洋側では水害が多いことで自然災害に悩まされていること、四国の地形・地質は脆弱であること、整備局の事業では本局・事務所・主張所における治水・道路・港湾事業等の役割について詳しく説明頂きました。特に道路事業についての8の字ネットワークについては興味深い話をして頂きました。また松山駅周辺の整備計画の話題も愛媛県人として注目すべきものでした。さらに建設業における働き方改革として週休2日制を導入する取り組みを整備局でも検討されているようで、近年、高齢化に伴って人材が少なくなっていて若手の人材を増やさなければならない状況で、国家公務員としての働き方の改革に取り組んでいることについてもお話しを頂きました。整備局の様々な取り組みが大変良いと思いました。

18:00～20:00産官学交流会では、愛媛大学キャンパス内で南加記念ホールの北側にあるレストラン haco 愛大城北店で行われました。民官学の隔たり無く優粋な交流を深めることも良いイベントだと思います。

